

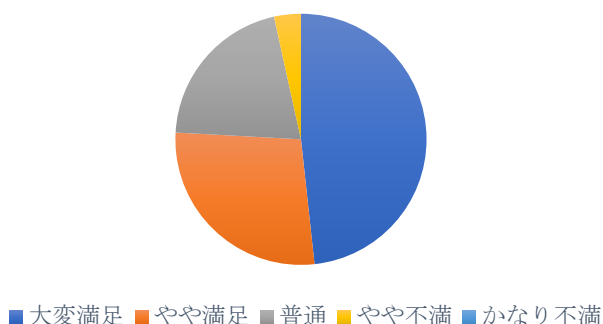
令和元年度石川療育センター放課後等デイサービス事業所評価

令和元年11月から令和2年1月にかけて、放課後等デイサービスを担当している職員の自己評価と、放課後等デイサービスをご利用されているお子さまの保護者さま向けアンケートを実施致しました。その結果を公表致します。

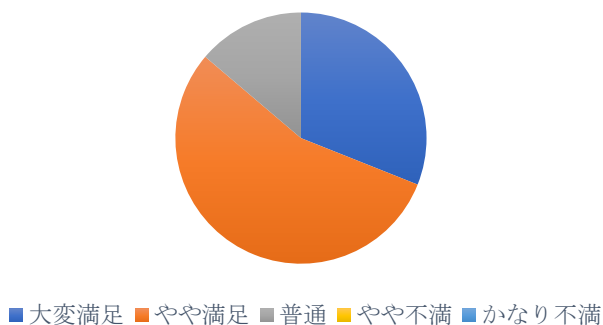
1. 保護者さまのご満足度に関する結果

ご協力くださいました保護者さまは対象者41名の内の35名で、28名の方からご回答を頂きました。以下に結果の内訳をグラフで示します。

お子さまは療育センターに通うことを楽しみにしていますか



療育センターの支援に満足されていますか



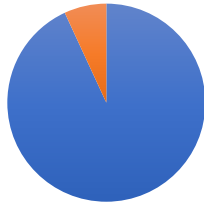
「自分がやりたいことができる場」「子どもの成長に合わせて相談ができる」「複数の友だちととり組めるのがよい」といったご意見もいただき、概ね満足頂いているようです。

ただし、「短時間でいいので外出行事があるとよい」といったご意見や、「他の子は行かないのに何故自分だけ・・・」「月に1～2回で時間も短い」等というお話があり、外にも目を向けつつ年齢にあったご満足いただけるサービスの内容を検討していきます。また、児童発達支援の評価と比べると、十分に満足頂いている訳ではないと考えています。今後も、サービスの内容を充実させ質を向上させていけるよう努めて参ります。

2. 保護者様アンケートの結果

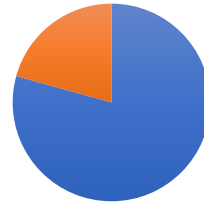
【環境・体制整備】

お子さまの活動に合わせた広さのスペースが十分に確保されていますか



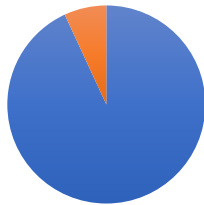
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

お子さまの特性に合わせた環境の工夫がされていると思いますか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

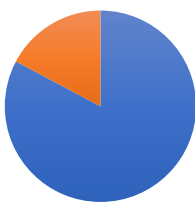
職員の配置や専門性に満足していますか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

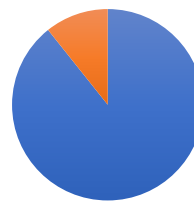
【適切な支援の提供】

お子さまと保護者様のニーズに合わせ、様々な視点で吟味したうえで、放課後等デイサービス支援計画が作成されていますか



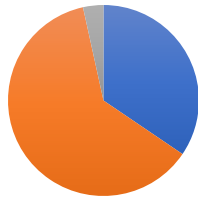
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

活動内容は、お子さまの個々の様子や状況に応じた工夫がされていると思いますか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

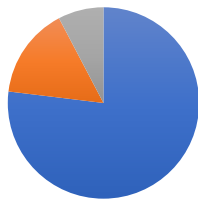
地域や地域の子どもとの交流につながって
いく見通しが持てる活動内容になっていま
すか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

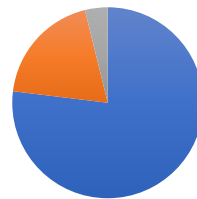
【保護者さまへの説明等】

支援の内容、利用者負担等についての説明は
十分だと思いますか



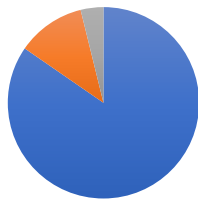
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

保護者さまの要望に合わせて、面談や育児に
関する助言等の支援が行われていますか



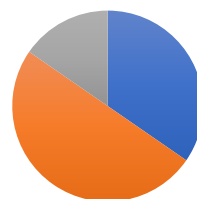
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

お子さまの状況について、保護者さまと支援
者の間で情報共有ができていますか



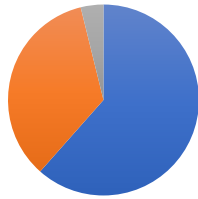
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

保護者さま同士の交流やつながりが生まれる
場になっていますか



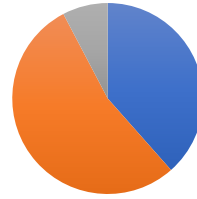
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

お子さまと保護者さまの要望やご意見が、迅速かつ適切に対応されており、十分であると思いますか



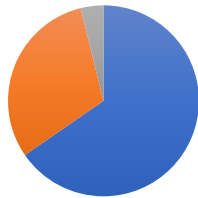
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

支援内容や事業所の姿勢についての情報発信は十分だと思いますか



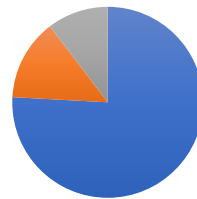
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

お子さまとのコミュニケーションや保護者さまへの情報伝達に工夫や配慮がされていますか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

個人情報の取り扱いに十分に注意されていると思いますか

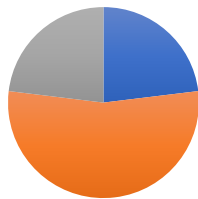


■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

会報やホームページ等を通しての、

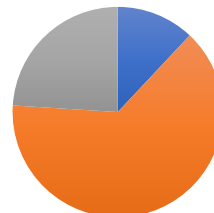
【非常時等の対応】

緊急時対応や感染対応、防犯の各マニュアルは保護者さまに周知されていますか。



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

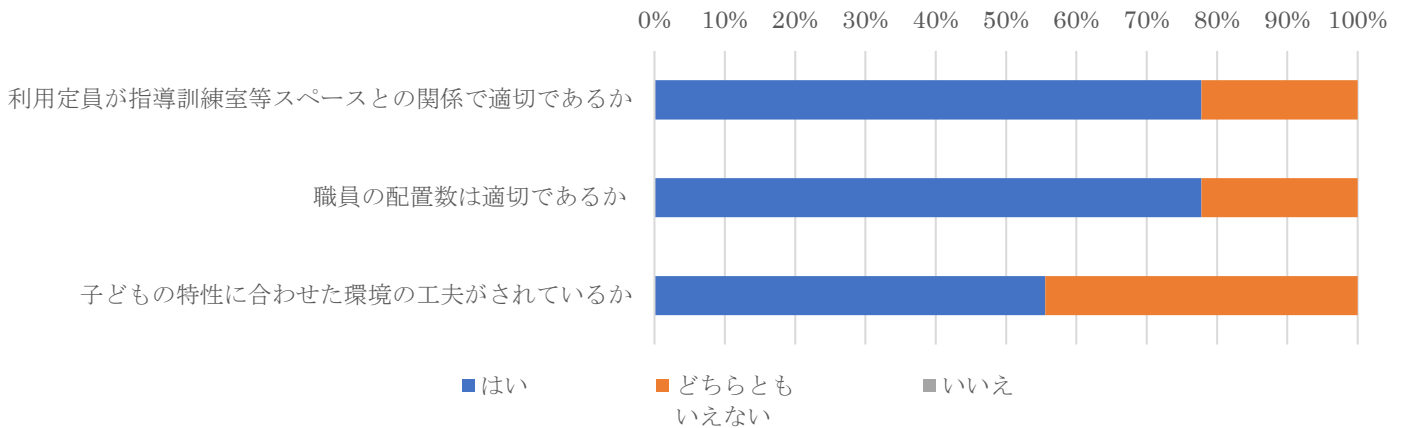
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか



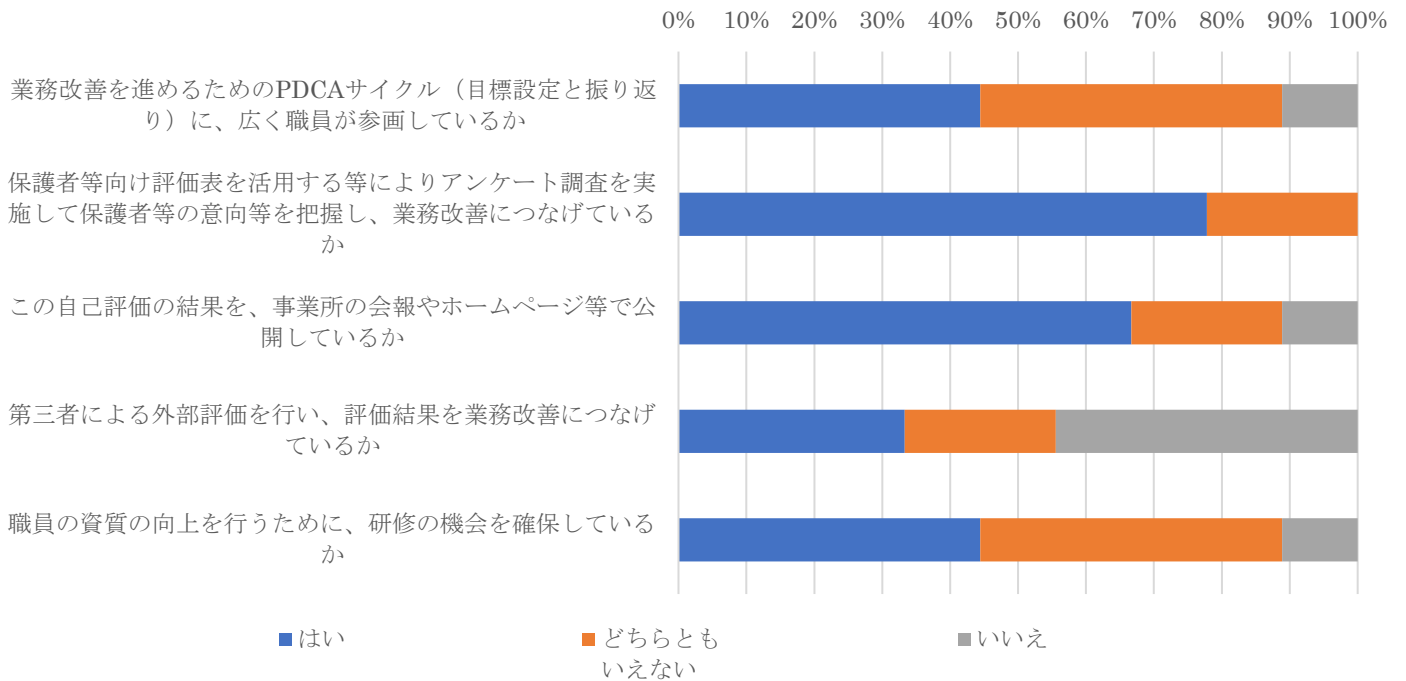
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ

3. 事業所評価アンケートの結果

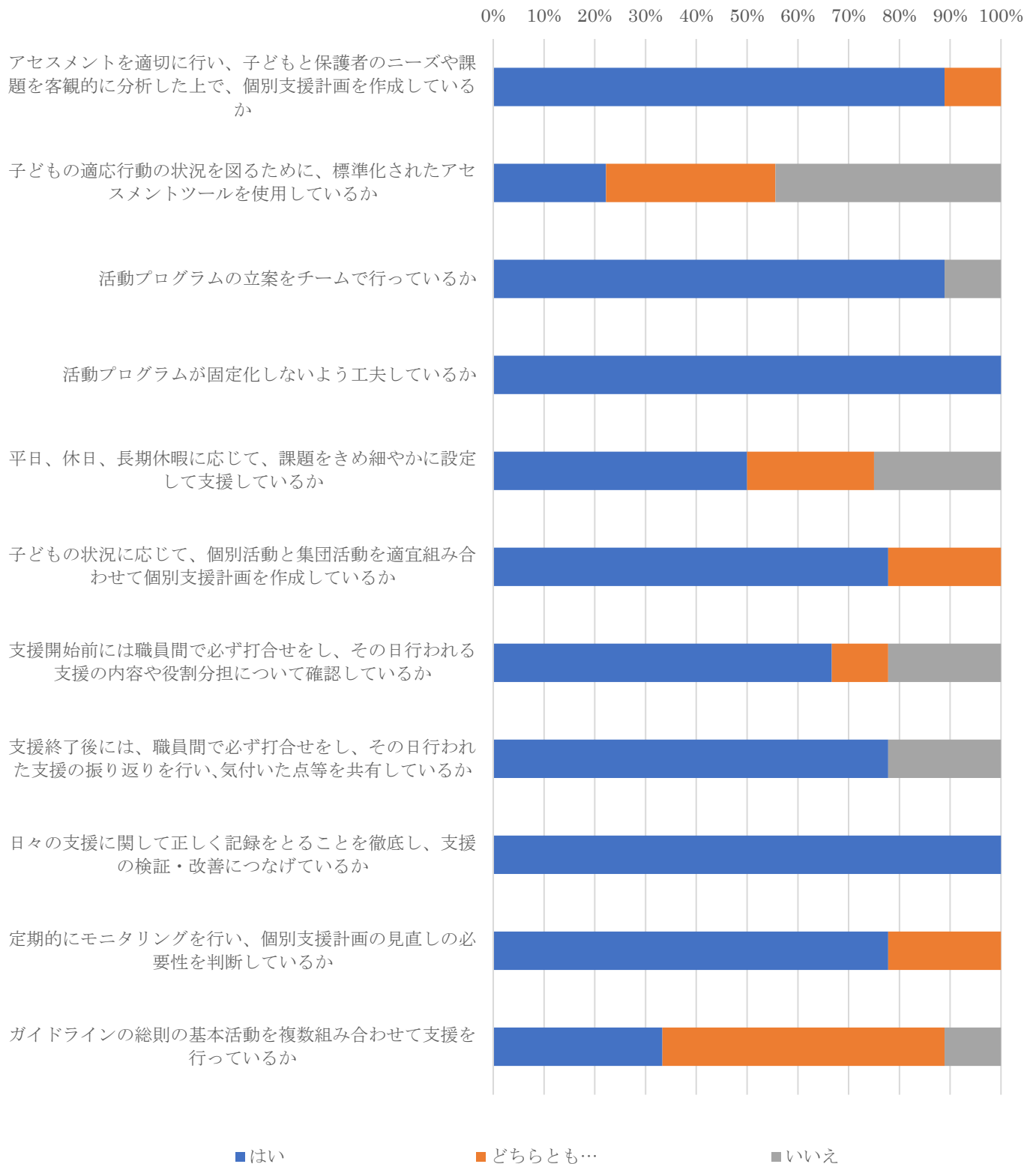
【環境体制】



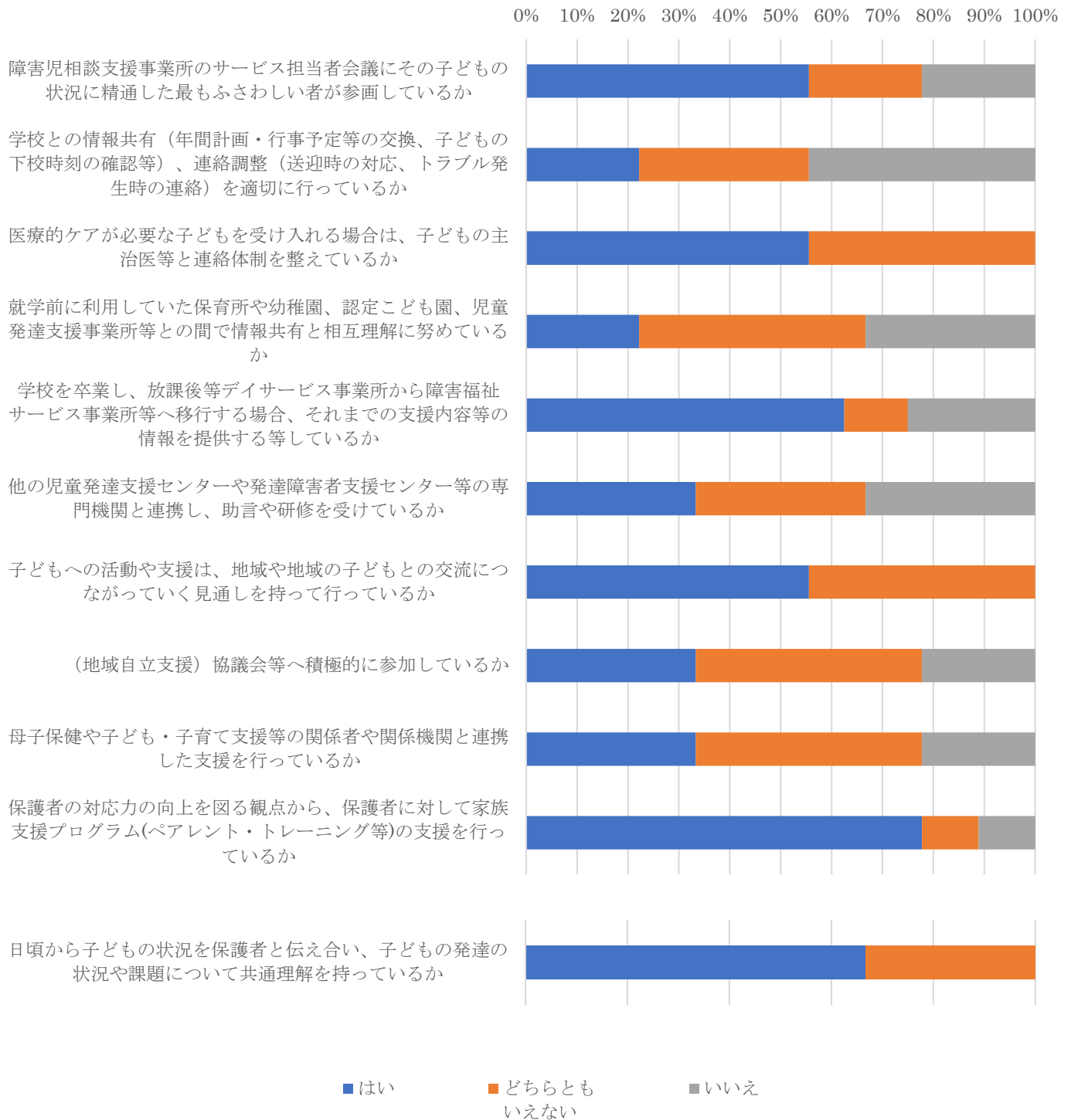
【業務改善】



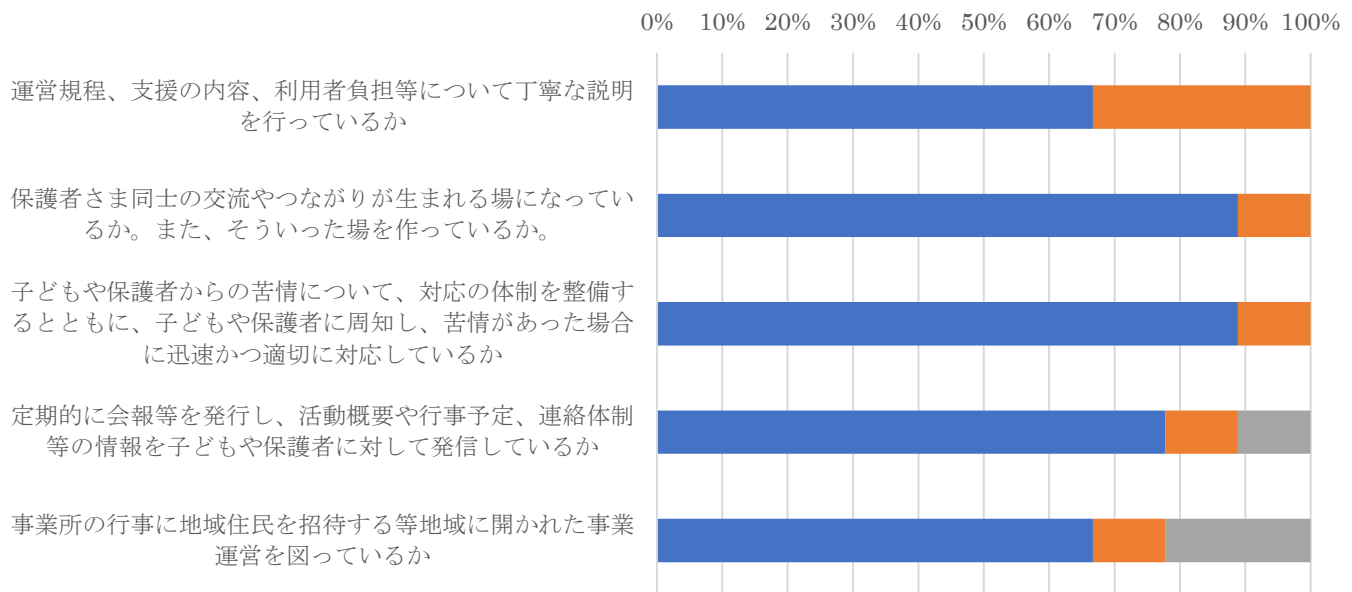
【適切な支援の提供】



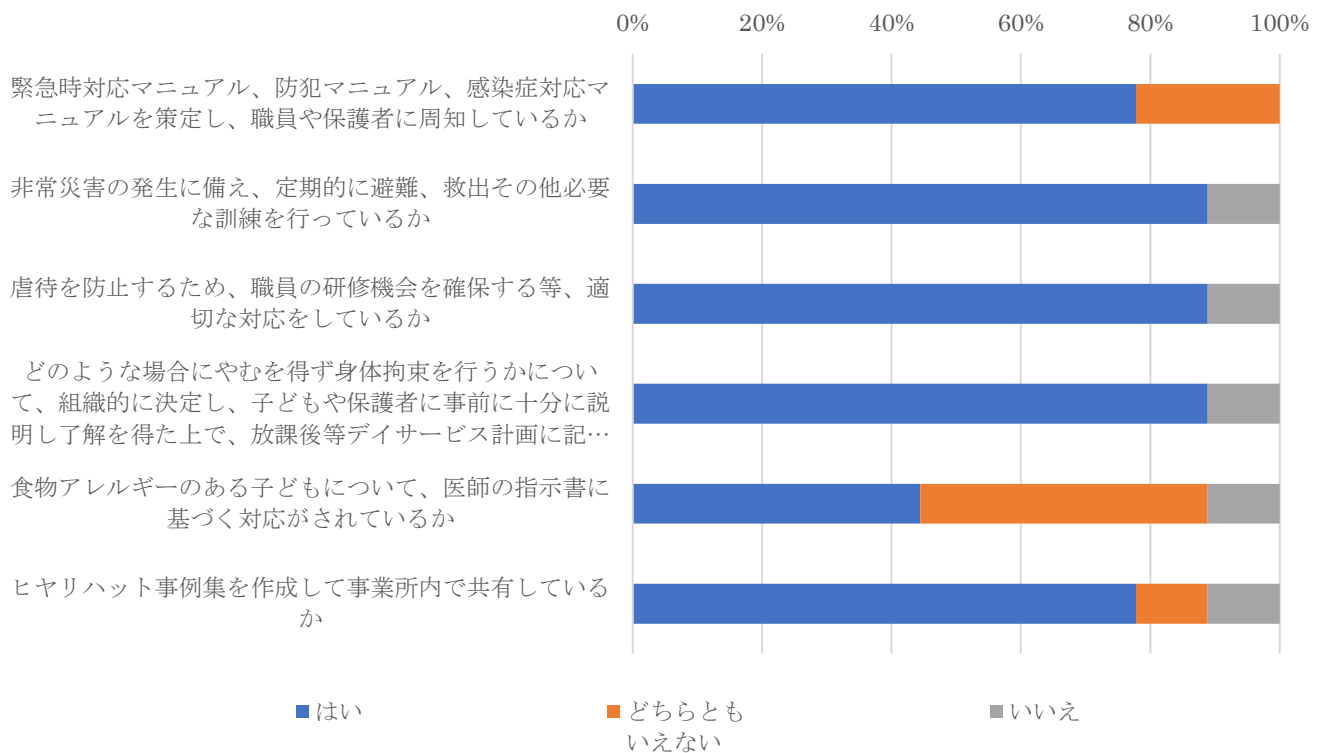
【関係機関や保護者との連携】



【保護者さまへの説明責任等】



【緊急時の対応】



4. 課題の検討と改善策

事業所評価アンケートの実施順に課題の検討と改善策をまとめました。

【環境体制】

保護者さまから、今回も「活動の場を見たことがない」というご意見がありました。加えて、「天候の良いひでもボール遊びができるスペースがあるとよい」「自分にはない考え方を教えてもらえる」「いつも 2 人以上で関わってくれるのでよい」という意見もありました。自己評価は、子どもの特性に合わせた環境の工夫がされているかに関して、どちらともいえない割合が多くなっています。

今年度、初回にお部屋を見て頂く機会を設けましたがそれを継続し、年度の途中にも見て頂く機会を設けていきます。自己評価では、環境の工夫をしているとした職員が少ないようですが、話を聞くと個々に合わせて行っていることがほとんどでした。つまり、環境の設定を意識化している職員が少ないことが分かりました。お子さまへの支援や設定の工夫を職員がまず意識して具体化し、実施した結果を保護者にお伝えしていくようにしていきます。

【業務改善】

自己評価では昨年に続き、PDCA サイクルへの職員の参画、第三者による外部評価の実施が不十分と感じている割合が多く、研修の機会に関して不足と感じている割合が多いようです。

PDCA サイクルに職員が参画できるよう、今年度よりグループ活動を中心に話し合いの場を設けました。PDCA がどの職員にも分かり易く理解できるよう、進め方を工夫することにします。また、「意見を反映していることとそうでないことがあると思う」「話し合いはされているのか気になる」という意見がありましたが、話し合いに参加できなかった職員もおり周知されていないのかもしれません。会議録が全員に回覧されるよう徹底し確認していきます。また、第三者による外部評価に関しては、法人の第三者委員会において事業所評価を公表し、ご意見を伺っていくことを検討していきます。

【適切な支援の提供】

保護者さまのアンケートでは、地域とのつながりに見通しを持てる内容としては評価が低いです。ご意見としては「人数が少ない」「計画が形だけになっている」「活動場面の姿が見れない」「地域の子どもたちとの交流につながっているか分からない」等があげられました。

地域とのつながりについては、立地からみて物理的な地域とのつながりを持つことは難しいと言えますが、お子さまの学校や地域の状況を教えて頂いて、遊びや活動のプログラムに反映させていきます。さらに、活動の目的や目標とその結果を保護者さまにより詳しく説明し、具体的なお要望があればお応えしていきます。

また自己評価では、アセスメントツールの使用や長期休暇に応じた設定、ガイドラインの総則を組み合わせた支援に関して、自信が無いと答えている割合が高くなりました。アセスメントについて「標準化されたアセスメントツールがない」「自分の担当の中では特に使用していない」といった意見や、ガイドラインについて「把握していない」といった意見がありました。他に、「基本的に個人の判断になっている」「保護者と適宜話し合う時間がとれていない」「記録にやや時間がかかってしまう」といった意見と、「適宜相談しながら個別支援計画を立てることができた」「セッションごとにすり合わせや目的の確認を行った」「個別、集団の課題それぞれにフォーカスを当てて立案している」といった意見がありました。

アセスメントは WISC-IV や S-M 社会性生活能力検査、その他 ST や OT の検査内容と保護者さまからの情報をまとめていますが、職員に浸透していないことが分かりました。アセスメントのテンプレートも作成してあり、それを使用する事を徹底していきます。また長期休業時、当事業所では利用時間が変更することは無いため、通常通りのご利用となっていますが、職員の中にはよりよい工夫の構想を持っている者がいるということだと思います。そうした意見が出しやすいような事業所内の雰囲気作りをしていきます。また、担当者が保護者と話ができるよう、今後もグループは 2 人体制で実施し、時間の設定を見直して行くことにします。加えて、記録に関してはより効率的な方法を検討していきます。

【関係機関や保護者との連携】

全般的に連携ができていないとらえている職員が多いという結果になっています。

当事業所ではこれまでに、児発管や担当者が担当者会議に参加してきたことや、主治医の連携を含めた医療的ケア児の受け入れのための体制を整えてきたこと、当事業所の医師が幼児相談室や児童相談所等に行って連携していること、児童発達支援を利用していたお子さんが放課後等デイサービスを利用されることが大多数であり担当者からお子さんの引継ぎを行ってきたこと、市の発達支援センター等との連絡を密に行なってきたこと、自立支援協議会の会議に参加している職員がおり、金沢市の保育研修所から依頼を受けて講師を派遣してきたこと等の実績を積み重ねてきた経緯があります。周知されていないことも多くあると考えられ、実際に当事業所が実施していることを共有する場を持って、職員に積極的に理解を求めることとします。また、管理者が尋ねたかった設問の本質が伝わっていないのかもしれないので、来年度は設問の内容を当事業所に合わせて作成することにしたいと思います。

また、学校との情報共有、就労等に関するサービス移行への情報提供、地域の子どもの交流につながる見通し、子どもの発達の状況や課題についての共通理解に関しては、検討課題であると言えます。

学校と直接的な情報共有も行いつつ、間接的ではありますが保護者さまを通じてのより積極的な共有を行っていきます。また、放課後等デイサービスの利用を終了する時期

やお子さまのタイプによって就労サービスや障害者手帳・年金、大学等での学生支援に関する情報を、必要に応じて担当者、あるいは主治医よりお伝えしていきます。そして、今年度は児発管や担当者が保護者さまとお話しする機会を今年度は取りましたが、その内容が各職員に伝わっていないようです。活動の様子を担当者同士で情報を共有することや、保護者さまからお子様の様子を教えていただくことを積極的に行うよう促していきます。

【保護者さまへの説明責任等】

保護者さまからは保護者さま同士の交流にご満足を頂いている割合が少なく、交流会の回数を増やして欲しいという要望がありました。また、お子様や保護者さまのご要望への迅速かつ適切な対応に満足している割合は少なかったです。さらに昨年に引き続き、会報やホームページによる情報発信を十分とする割合が少ないという結果です。

保護者会は年に1回の実施となっています。皆さまがご参加しやすい土曜日の午前で、小学校の行事が少ない時期を選んでいきます。もっと多くの保護者さま同士のつながりをご希望される方には、親の会をご紹介します。また、お子さまおよび保護者さまのご要望は、グループに参加されている方の場合には、他のお子さんもいらっしゃるので熟慮を要する場合もあり、かつ、ご要望通りに対応できないこともあります。ご要望に沿えるよう努力していきます。さらに、事業所全体で広報紙あいじを年間3回発行しています。待合室やロビー、受付においてあるのでお持ち帰り頂けるようにしています。来年度はホームページの内容を精査し、より分かりやすい情報発信に努めます。

【緊急時の対応】

保護者さまのアンケートでは一昨年、昨年と同様に、緊急時等のマニュアルの周知と訓練の実施に関して、十分とされる割合が少なかったです。

昨年度より、避難経路をセラピーの部屋に掲示をしており、防犯マニュアルや感染症対応マニュアルについては、重要事項説明書でふれられています。今回、保護者さまがご覧いただくことができるよう、ホームページにてマニュアルを公開します。